

令和 7 年度 主要・新規事業

“ひと”づくり・“いえ”づくり・“まち”づくり

市民といっしょに^{あす}未来の蒲郡を創ります



蒲郡市

蒲郡市では、SDGsの達成に向けた施策展開を図っています。また、主要・新規事業の項目にSDGsで掲げる17の目標について、施策ごとに、関連する主要な目標を掲載します。

※SDGs (Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に統合的に取り組むための国際社会全体の開発目標。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



事業内容一覧

1 イネーブリングシティの実現

- ・イネーブリングシティの実現に取り組みます



1

2 地域コミュニティ・まちの活性化・防災など

地域コミュニティの再構築により「一人ひとりが輝きつながりあうまちを実現」

- ・ラリー三河湾を開催します



2

- ・選ばれるまちを目指し、
ラグナシアの市民開放日を年4回開催します



3

- ・結婚等に伴う新生活の経済的負担を軽減します



4

- ・災害時の医療及び福祉避難所継続に向けた設備導入を支援します



5

- ・地域における防災力の強化を支援します



6

3 こどもファースト・地域共生社会の実現など

心ある地域共生社会を創り、「こどもを産み育てやすい、つながり安心して住み続けられる
まちづくりを実現」

- ・こども・若者・子育て世帯への切れ目ない支援施策を推進します



7

- ・高齢者の生活の質向上のためロボットの購入を支援します



8

4 教育・文化など

未来に輝く街を創り「人と文化を未来につなぐまちづくりを推進」

・ 小・中学校のGIGAタブレット端末を更新します				9
・ 塩津地区学校複合施設の建設工事を進めます				10
・ 西浦地区学校複合施設の建設工事を進めます				11
・ 北部・西部地区学校等施設 建設に向けた基本計画を策定します				12
・ 生命の海科学館の充実を図ります				13
・ 「清田の大クス」保全事業と保存活用計画を策定します				14
・ 浜町テニスコートの改修工事を行います				15

5 健康・福祉・生活・地域など

市民の健康と生命を守り「笑顔がつながり幸せに暮らせるまちづくりを実現」

・ ソフィア看護専門学校の施設を活用した 地域看護学専攻（仮称）設置準備に取り組みます			16
--	---	---	----

6 都市基盤整備・交通・通信・エネルギーなど

暮らしと環境「地域と人がつながり快適な暮らしを支えるまちづくりを実現」

・ みなとまちをつなぐ竹島ふ頭の開発に向けた設計を行います				17
・ 旅客船の行きかう港づくりを推進します				18
・ 通学路の交通安全対策を強化します				19

7 産業・経済など

人財育成と力強い経済を創り「人と人がつながり、にぎわいと元気あふれるまちづくりを推進」

・西浦園地及び周辺エリアの将来構想を策定します			2 0	
・道の駅の導入可能性調査を実施します				2 1
・農地情報公開型GISを導入し、 農業分野のDX化を推進します				2 2
・里山林の整備を支援します				2 3
・SGボートレースクラシックを開催します			2 4	

8 行財政・SDGs・DXなど

DXの活用による市民参加を進め、持続可能な環境の構築に向け「未来につながり市民とともに歩むまちづくりを実現」

・ <u>ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを推進します</u>			2 5		
・ <u>サーキュラーシティを推進します</u>					2 6

イネーブリングシティの実現

～みんなでつくる ハッピー＆ヘルシーなまち がまごおり～

拡充

イネーブリングシティの 実現に取り組みます



蒲郡市に関わるすべての人が、心も体も健康（ウェルビーイング）な状態で、一人ひとりが自分らしく暮らし続けられるよう、幸福と健康の両方向から満たされるまち「イネーブリングシティ」の実現に取り組みます。人々が幸福や健康を同時に感じる要素（イネーブリングファクター）を市民等と協働で見つけ出し、それらをまちに導入・実装したまちの形成に向け、市の施策に健康と幸福の視点を盛り込み引き続き全庁的に取り組みます。

事業費：43,468 千円

（財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 37,000 千円 一般財源 6,468 千円）

イネーブリングシティウォーク

市民協働でまちをウォーキングし、市内にある「Happy」「Healthy」「Unhappy」「Unhealthy」の要素（イネーブリングファクター）を見つけ、まちづくりに活かします



地域イネーブリングの取組

地域特性や住人のニーズに応じたイネーブリングシティの形成を、モデル地区で地域と協働で進めます。



イネーブリング施策の推進

市の施策に幸福と健康の視点を盛り込み、市役所トイレ改修、ベンチ設置の検討、アートの導入やまちの緑の検討、健康の道のリニューアルなど新たなイネーブリング施策を展開します。



「イネーブリングシティ講演会」（令和7年8月23日(土)）

実施体制：①横浜市立大学との共同研究として実施

②地域・企業と連携した取り組みの推進

③蒲郡市ウェルビーイング推進本部・作業部会での施策検討

問い合わせ先

ウェルビーイング推進課

電話：0533-56-2230

メール：well@city.gamagori.lg.jp

地域コミュニティ・まちの活性化・防災など

継続

ラリー三河湾を 開催します



JAF 全日本ラリー選手権「Rally 三河湾」を開催し、モータースポーツを活用した地域活性化を目指します。

事業費：11,000 千円
(財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 11,000 千円)

RALLY 三河湾の開催

ラリー三河湾を開催するため、官民連携で「ラリー三河湾実行委員会」を組織し、円滑な運営に努めます。モータースポーツ関連企業等と連携し、地域活性化につながる事業連携を検討します。また、全国から来場のあるラリーを活用してシティセールスにも繋がります。

●実施概要

主 催：ラリー三河湾実行委員会
実施時期：令和8年3月予定
実施場所：ラグーナ蒲郡地区、竹島地区など
来場目標：5万人

●その他事業

- ・学校でのラリーデモ走行同乗体験
- ・他のイベント出展によるラリーPR



◆全日本ラリー選手権とは

国内最高峰のラリー選手権。年間、国内8ヶ所を舞台に競技が開催される。市販車に近いラリー車両が、舗装路・砂利道・泥道等、様々な路面の行動を走行し、そのスピードを競うもの。

問い合わせ先

産業振興部 観光まちづくり課 ラリー三河湾推進室
電話：0533-66-1231 メール：rally@city.gamagori.lg.jp

地域コミュニティ・まちの活性化・防災など

新規

選ばれるまちを目指し、ラグナシア の市民開放日を年4回開催します

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



子育て世代をはじめとして多くの方が蒲郡市に住み続けたい・住みたいと
思っただくことを目的として、全市民がラグナシアを無料で楽しめる日
を4回開催します。

事業費：60,500 千円

(財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 60,500 千円)



第5次蒲郡市総合計画において「蒲郡市の
良さについて市民が再認識し」とあるよう
に本市の特徴であるテーマパークの立地と
いう特性を活用します。家族での外出の機
会を創出し、費用や場所の検討などの子育
てへの負担軽減を実施します。蒲郡市の特
性を活用した子育て世代を中心とした施策
として、定住・移住の促進を目的とします。

複数のアトラクションや遊具を楽しむこと
で、こどものたちの健康増進と心豊かな生
活の醸成につながり、健康面でのウェルビー
イングにつながります。また、非日常空
間であるテーマパークを定期的に使用でき
ることによる、蒲郡市民でよかったという
幸福感を感じることができます。健康、幸
福の両面からイネープリングシティの形成
に寄与することで、定住・移住促進という
目的につなげます。



実施予定日：令和7年4月から令和8年3月までの間に4回開催

対象者：蒲郡市民（マイナンバーカード等での身分確認が必要となります。）

実施内容：ラグナシア入園料及びアトラクション利用料を無料とする

（パスポート利用時と同条件。特別開催など無料対象外のアトラクション、イベントがあります。）

問い合わせ先

企画部 企画政策課

電話：0533-66-1162 メール：kikaku@city.gamagori.lg.jp

結婚等に伴う新生活の

経済的負担を軽減します

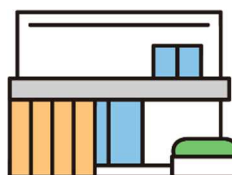
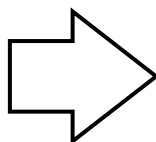
11 住み続けられる
まちづくりを



若者世帯の移住定住を促進する目的として、新婚世帯を対象に結婚に伴う新生活を経済的に支援するため、新生活のスタートアップに係る費用（住宅取得費、家賃等）を最大60万円補助します。

事業費：6,000 千円

（財源内訳：県補助金 3,000 千円 ふるさと蒲郡応援基金繰入金 3,000 千円）



<対象となる世帯>

- ・婚姻届出日が令和7年4月1日以降
- ・夫婦ともに39歳以下
- ・夫婦の令和6年中所得の合算額が500万円未満
- ・夫婦ともに蒲郡市税を滞納していない

※ここでの夫婦は、蒲郡市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の届出者も含まれます。

<対象となる費用>

令和7年4月1日以降に支払った下記の費用

- ・住宅取得費用
- ・住宅リフォーム費用
- ・住宅賃借費用
- ・引越費用

補助上限額：＜住宅取得費用・住宅リフォーム費用＞

29歳以下：60万円 / 39歳以下：30万円

＜住宅賃借費用・引越費用＞

39歳以下（一律）：10万円

受付開始予定：令和7年6月2日から

その他：三世帯同居・近居住宅支援補助金、民間木造住宅耐震改修費補助金、空家利活用事業費補助金、住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金など本市の他の補助金との併用不可

問い合わせ先

企画部 企画政策課

電話：0533-66-1162 メール：kikaku@city.gamagori.lg.jp

災害時の医療及び福祉避難所継続 に向けた設備導入を支援します



災害時の地域レジリエンス強化促進を目的とし、災害発生時に機能維持が求められる医療機関及び福祉避難所に対し、太陽光発電設備及び蓄電池導入の際の経費の一部を補助します。

事業費：30,000 千円

（財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 30,000 千円）



- 対 象** : (医療機関) 災害時に救護活動及び医療提供が可能な蒲郡市内の医療機関
(福祉避難所) 蒲郡市の福祉避難所に登録されている社会福祉施設等
- 補 助 額** : 設置等にかかった費用の2分の1
- 対象設備** : 自家消費型太陽光発電設備 (上限100万円)
蓄電池 (上限100万円)
- 予 算 額** : (医療機関) 200万円×10箇所
(福祉避難所) 200万円×5箇所

問い合わせ先

(医療機関) こども健康部 健康推進課 電話：0533-67-1151 メール：hoken@city.gamagori.lg.jp

(福祉避難所) 福祉部 福祉課 電話：0533-66-1106 メール：fukushi@city.gamagori.lg.jp



地域における防災力の強化を 支援します

地域における防災力の強化を図るため、新たに2つの補助制度を創設します。

- 1 防災士資格を取得される方に、受講料などの費用の一部を補助します
- 2 感震ブレーカーを設置される方に、器具購入費の一部を補助します

事業費：750 千円（財源内訳：一般財源 750 千円）

1 防災士資格取得支援事業費補助金 250千円

防災・減災に関する専門知識や技術、経験を有し、地域防災の担い手となる防災士を育成するため、資格取得にかかる受講料などの1/2(上限:25,000 円)を補助します。

資格取得後は、市民目線に立った防災啓発活動などでの活躍が期待されています。

※防災士とは、“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証する民間資格です。



2 感震ブレーカー設置事業費補助金 500千円

地震の揺れをセンサーで感知し、自動で瞬時に家庭のブレーカーを落とす感震ブレーカーを設置する方に、器具購入費用の1/2(上限:10,000 円)を補助します。

※感震ブレーカーを設置することで、電力復旧後に倒れた電気ストーブ、破断した電気コードなどからの出火を防ぐことができます。

実施予定日：令和7年4月1日から

補助対象者：蒲郡市在住の市民

問い合わせ先

危機管理課

電話：0533-66-1208 メール：kikikanri@city.gamagori.lg.jp

こどもファースト・地域共生社会の実現など

こども・若者・子育て世帯への 切れ目ない支援施策を推進します

新規

拡充

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



こどもの居場所を開設・支援します。

■対象のこども■

- ・養育環境に課題があるこども
- ・家庭や学校などに居場所がないこども
- ・学校生活になじめないこども など

■事業費■

整備費補助金:13,059 千円
委託料:1,443 千円
運営事業費補助金:2,000 千円



こども食堂への支援を拡充します。

■補助金の拡充■

(1開催あたり平均こども利用数)

9 名まで:2,500 円

19 名まで:5,000 円

29 名まで:7,500 円(拡充)

30 名以上:10,000 円(拡充)

■事業費■

運営費補助金:960 千円

支援が必要なこどもへの見守りを強化します。

■支援内容■

- ・食事(食材・弁当)の提供
- ・定期的な訪問による状況把握
- ・生活習慣の習得支援 など

■事業費■

委託料:2,520 千円



地域子育て相談機関を開設します。

身近な子育てに関する施設において、子育て世帯・こどもが気軽に相談できるように
地域子育て相談機関を設置します。

■地域子育て相談機関■

市内児童館(7か所)、市内子育て支援センター(3か所)

■事業費■

人件費等経費:2,372 千円



ヤングケアラー実態調査を行い、必要な支援を実施します。

「ヤングケアラー」とは

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の
こども・若者のこと

■調査対象■

小学4年生～高校3年生世代

■事業費■

委託料:3,442 千円



問い合わせ先

こども健康部 子育て支援課

電話 : 0533-66-1230 メール : kosodate@city.gamagori.lg.jp

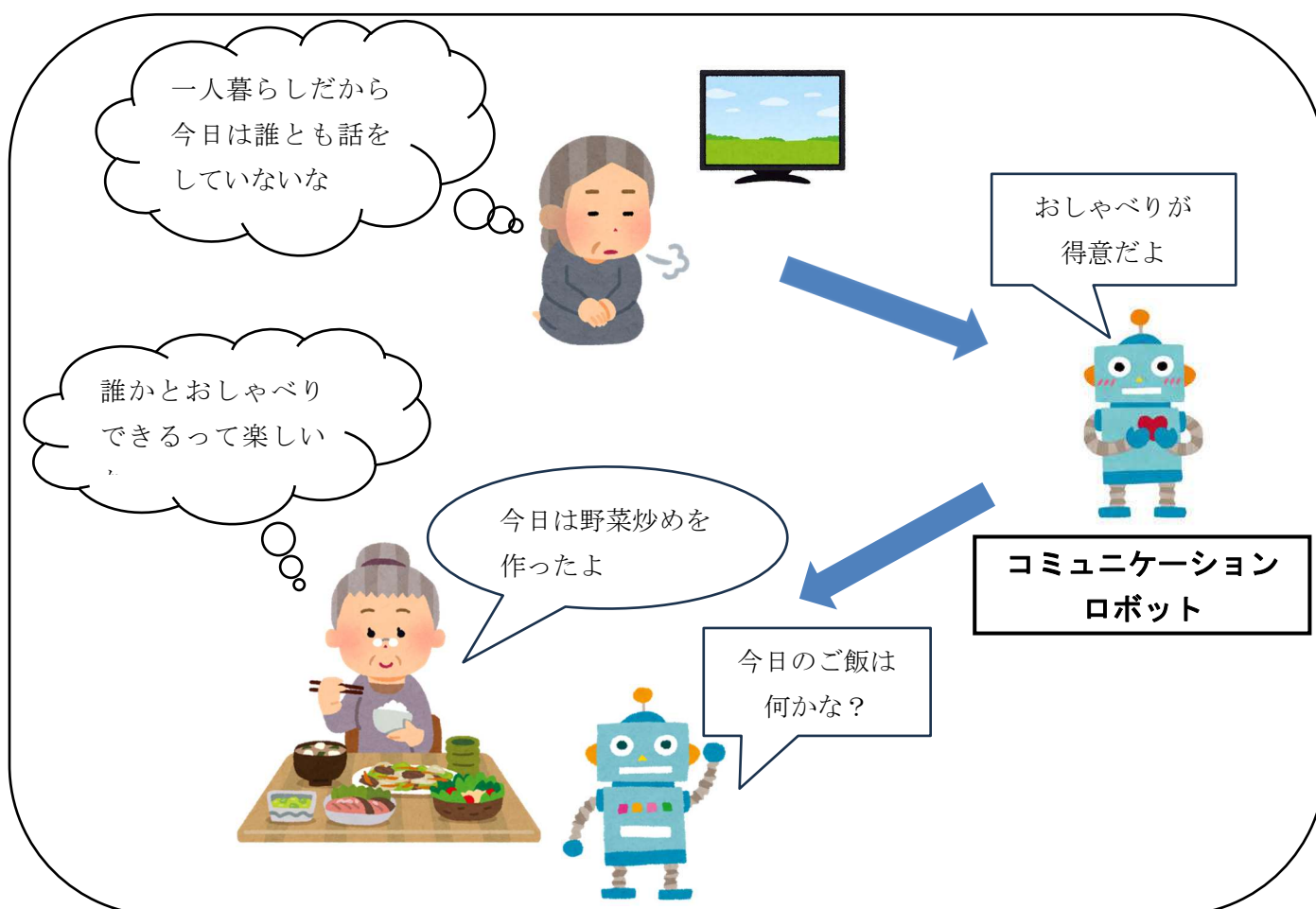
高齢者の生活の質向上のため

ロボットの購入を支援します



単身高齢者世帯が会話機能やお知らせ機能のあるコミュニケーションロボットを購入した際、費用の一部を支援します。ロボットと会話することで、高齢者の孤独解消による生活の質の向上及び認知症予防などを図ります。

事業費：600 千円（財源内訳：一般財源 600 千円）



事業の実施予定

実施予定：令和7年7月から

補助額：購入費用の1/2（1世帯当たり上限3万円）

補助対象者：市内在住の単身高齢者世帯

問い合わせ先

福祉部 長寿課

電話：0533-66-1105 メール：choju@city.gamagori.lg.jp

教育・文化など

新規

小・中学校の

GIGAタブレット端末を更新します

4 質の高い教育を
みんなに



GIGAスクール構想の第2期（NEXT GIGA）として、ポートレースの収益金及び県の補助金を活用し、児童生徒へ1人1台のタブレット端末を更新します。

事業費：746,988 千円

（財源内訳：モーターボート競走事業収入 537,988 千円

県補助金 209,000 千円）



第2期では、今後ますますの1人1台端末の日常的な利活用やデジタル教科書、児童生徒が学校や家庭において、学習やアセスメントができるCBTシステム(MEXCBT:メクビット)の導入が進んでいきます。



MEXT(文部科学省)
+
CBT(Computer Based Testing)

事業概要

- 更新時期:令和7年9月末(予定)
- 端末の更新に係る費用は、モーターボート競走事業の収益金及び県補助金を活用します。

問い合わせ先

教育委員会 教育政策課

電話：0533-66-1166 メール：shomu@city.gamagori.lg.jp

塩津地区学校複合施設の 建設工事を進めます



塩津地区個別計画に基づく複合施設建設事業に係る建設工事を進めます。

事業費：2,929,280 千円

財源内訳：国庫支出金 736,786 千円 市債 436,500 千円

モーターボート競走事業収益基金繰入金 1,755,994 千円

継続費設定額：令和6年度～令和10年度 7,842,900 千円

塩津地区学校複合施設実施設計業務に基づき、令和6年9月から行っている複合施設の建設工事を引き続き進めていきます。

複合施設の鳥瞰パース・工事写真

鳥瞰パース



工事写真（令和7年1月撮影）



事業概要：

小学校・保育園・公民館・児童クラブの機能を持つ複合施設を建設する

主なスケジュール（予定）：

令和6年9月～令和8年10月（工事契約期間） 本体工事

令和9年1月 施設供用開始

令和8年度～令和9年度 解体工事

令和9年度～令和10年度 グラウンド整備工事

〔令和6年度～令和10年度の継続費〕

問い合わせ先

教育委員会 教育政策課

電話：0533-66-1166 メール：kyoiku@city.gamagori.lg.jp

西浦地区学校複合施設の 建設工事を進めます



西浦地区個別計画に基づく複合施設建設事業に係る建設工事を進めます。

事業費：4,928,895 千円

財源内訳：国庫支出金 1,993,495 千円 市債 2,427,800 千円 モーターボート競走事業収益基金繰入金 505,900 千円 一般財源 1,700 千円
継続費設定額：令和6年度～令和10年度 6,538,600 千円

西浦地区学校複合施設実施設計業務に基づき、令和6年9月から行っている複合施設の建設工事を引き続き進めていきます。また、同複合施設で令和8年度開校予定の西浦学園（小中一貫教育義務教育学校）の開校準備も進めています。

複合施設の鳥瞰パース・工事写真

鳥瞰パース



工事写真（令和7年1月撮影）



事業概要：

小学校・中学校・公民館・児童クラブの機能を持つ複合施設を建設する

主なスケジュール（予定）：

令和6年9月～令和8年6月（工事契約期間） 本体工事

令和8年9月 施設供用開始

令和8年度～令和9年度 解体工事

令和9年度～令和10年度 グラウンド整備工事

〔令和6年度～令和10年度の継続費〕

問い合わせ先

教育委員会 教育政策課

電話：0533-66-1166 メール：koyoiku@city.gamagori.lg.jp

北部・西部地区学校等施設建設 に向けた基本計画を策定します



蒲郡北地区個別計画に基づき、「蒲郡北部小学校・北部公民館・北部保育園」の敷地を活用して、「北部・西部地区の小学校・公民館・保育園・児童クラブ」と「市立特別支援学校」の整備を進めるため、基本計画の策定に取り組めます。

事業費：48,137 千円

(財源内訳：モーターボート競走事業収益基金繰入金 48,037 千円
一般財源 100 千円)

主に取り組む業務について

基本計画の策定

蒲郡北地区個別計画のコンセプトを実現させるために、事業用地における各施設の配置、整備、管理運営方法等について、市民の意見を伺いながら基本計画の策定に取り組めます。

事業用地の測量

基本計画と並行し、事業用地の境界と正確な面積を把握するため、周辺土地の測量等を進めます。

(位置図)



※令和9年4月に蒲郡西部小学校と蒲郡北部小学校を統合し、新たな学校とするための準備も進めていきます。各施設の整備が終わるまでは現蒲郡北部小学校の校舎で教育活動を行います。

主な事業内容：

基本計画策定事業費：28,720 千円

事業用地測量委託料：18,827 千円

スケジュール（予定）：

令和7年6月から令和8年2月まで

問い合わせ先

教育委員会 教育政策課

電話：0533-66-1166 メール：kyoiku@city.gamagori.lg.jp

生命の海科学館の

充実を図ります

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



令和5年4月に「博物館法の一部を改正する法律」が施行されたことを受け、生命の海科学館は「登録博物館」認定を目指して準備を進めます。また、開館から25年が経過した科学館の展示リニューアルに向けた計画づくりに着手します。

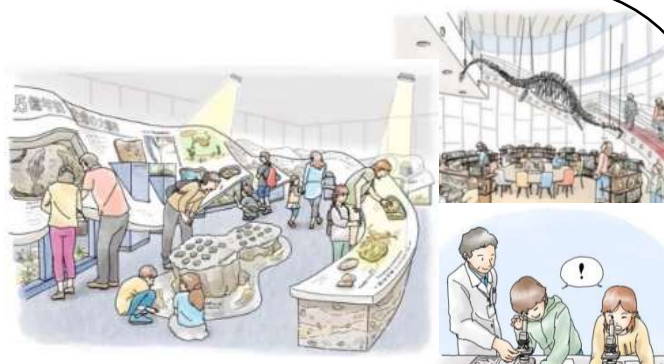
事業費：7,721 千円

(財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 7,721 千円)



「登録博物館」になると…

「登録博物館」として認められるには、設備や活動内容などが一定の要件を満たしていることが求められます。審査を経て認定されると、質の高い博物館として広く信用を得ることができるため、他館や研究機関等とのさらなる連携促進につながります。また、国や県のような支援を受けやすくなることから、活動の幅も広がることが期待できます。



展示をリニューアルすると…

貴重な標本を活かしつつ、新しい展示手法を取り入れることで、子どもから大人まで、地球の歴史や生物の進化をいっそう体感的・直感的に楽しむことができるようになります。最新の知見をもとに、環境問題や地域の自然等にも関連した展示を充実することで、学校との連携をさらに深め、市民の興味関心にいっそう寄り添う学びの場となります。

事業費内訳 展示改修基本計画策定委託料：6,750 千円、登録博物館準備経費：971 千円

事業の内容 [展示改修基本計画業務] 展示リニューアルの基本方針や、展示テーマ、構成等を検討。
[登録博物館申請準備] 登録博物館として必要な要件を満たすよう設備・活動等を充実。

問い合わせ先

教育委員会 生涯学習課 生命の海科学館

電話：0533-66-1717 メール：science@city.gamagori.lg.jp

「清田の大クス」保全事業と 保存活用計画を策定します



中部地方屈指のクスの名木である国指定天然記念物「清田の大クス」に、近年クスサン（ガの一種）が大量発生しています。まずは喫緊の対策としてボランティアと共に物理的駆除を行いつつ若齢幼虫期に薬剤散布を実施し、クスノキの若葉を虫害から守ります。

令和7年度から2ヶ年かけて文化財を総合的に管理するための保存活用計画を策定し、将来にわたって適切な管理と保全に努めます。

事業費：5,736 千円

（財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 5,736 千円）

保全事業

2,856 千円

物理的駆除作業と併せて、クスサンの若齢幼虫（黒色）期に、薬剤散布による駆除を実施します。



保存活用計画の策定

2,880 千円

清田の大クスの保存・活用を進めていくための計画を策定し、これに基づいて中・長期的な観点からの取り組みを進めます。



【保全事業】

薬剤散布

令和7年4月末～5月中旬（3回実施予定）

【保存活用計画策定】

令和7年度

資料収集、現状と課題の整理

令和8年度

方向性と方法の整理

令和8年度末

調査報告書の作成

問い合わせ先

教育委員会 博物館

電話：0533-68-1881 メール：museum@city.gamagori.lg.jp

教育・文化など

新規

浜町テニスコートの

改修工事を行います

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



浜町テニスコートの改修工事を行います。

事業費：148,300 千円

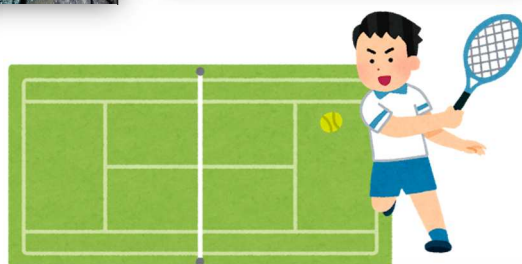
（財源内訳：諸収入【スポーツ振興くじ助成金】24,000 千円

モーターボート競走事業収益基金繰入金 124,300 千円）



競技環境の充実

テニスコート8面の人工芝張替、練習用コートのクレイ土人工芝化を行います。（人工芝は環境に配慮したものを使用します。）



利用環境の充実

管理棟トイレ改修、放送機器の更新、観客席のベンチ・テントシート改修を行います。



工 期：令和7年9月上旬から令和8年3月下旬まで（予定）

事業費内訳：工事費 148,300 千円

そ の 他：工事中は利用を休止します。

問い合わせ先

教育委員会 スポーツ推進課

電話：0533-66-1222 メール：sports@city.gamagori.lg.jp

健康・福祉・生活・地域など

新規

ソフィア看護専門学校の施設を活用した

地域看護学専攻（仮称）の設置準備に取り組みます



看護師養成事業を将来にわたり継続するだけでなく、高度化する市民病院での医療に対応する優秀な人材を育成するため、新たに名古屋市立大学とともに、現在のソフィア看護専門学校の施設を活用した地域看護学専攻（仮称）の設置準備に取り組みます。

事業費：52,744 千円
（財源内訳：一般財源 52,744 千円）

本市と緊密な連携関係にある名古屋市立大学とともに、ソフィア看護専門学校施設を活用した名古屋市立大学の地域看護学専攻（仮称）開設に向けて、カリキュラム作成などの準備をすすめていきます。



問い合わせ先

福祉部 看護専門学校

電話：0533-67-9103 メール：kango@city.gamagori.lg.jp

都市基盤整備・交通・通信・エネルギーなど

新規

みなとまちをつなぐ

竹島ふ頭の開発に向けた設計を行います

11 住み続けられる
まちづくりを



東港地区まちづくりビジョンの実現に向けて、段階的な開発整備を進めるため、竹島ふ頭の空間整備の実施設計などを行います。

事業費：51,600 千円

(財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 51,600 千円)

R6.11 時点の検討イメージ



問い合わせ先

建設部 みなとみらい課

電話：0533-66-1281 メール：higashikou@city.gamagori.lg.jp

都市基盤整備・交通・通信・エネルギーなど

新規

旅客船の行きかう港づくりを 推進をします

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



竹島ふ頭等で発着の旅客船事業の社会実験を実施します。社会実験実施後には事業化に向けた検証をし、賑わいのある「みなと」づくりを推進します。

事業費：2,200 千円（財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 2,200 千円）

① 旅客船事業者募集

竹島ふ頭等で発着の
旅客船事業の社会実験
事業者の募集。

② 社会実験の実施

竹島ふ頭等で発着の旅客
船事業の社会実験、トライア
ルの実施支援。

③ 事業化に向けた検証

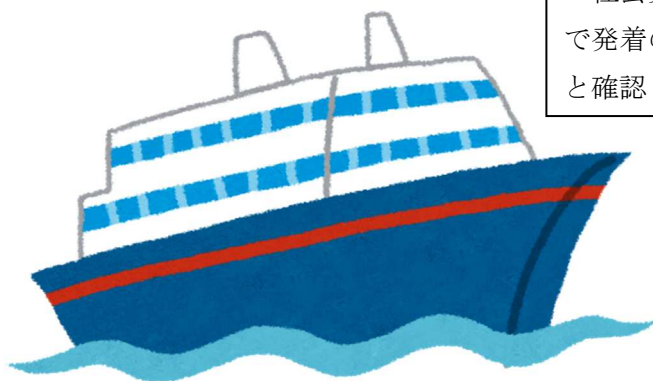
社会実験の結果をもとに、竹島ふ頭等
で発着の旅客船事業の課題などを事業者
と確認しながら検証する。

④ 旅客船事業の事業化

竹島ふ頭等で発着の旅客船事業の
事業化を目指していただく。

賑わいと旅客船のある“みなと”づ
くりを目指す。

事務局請負業者と社会実験を支援



支援事業の実施予定

社会実験の募集：令和7年4月頃

社会実験の実施：令和7年6月頃から令和8年2月まで

支援対象経費：1件あたりの上限額 500千円

採択予定件数：3件



問い合わせ先

建設部 みなとみらい課

電話：0533-66-1152 メール：minato@city.gamagori.lg.jp

都市基盤整備・交通・通信・エネルギーなど

新規

通学路の交通安全対策を

強化します

3 すべての人に
健康と福祉を

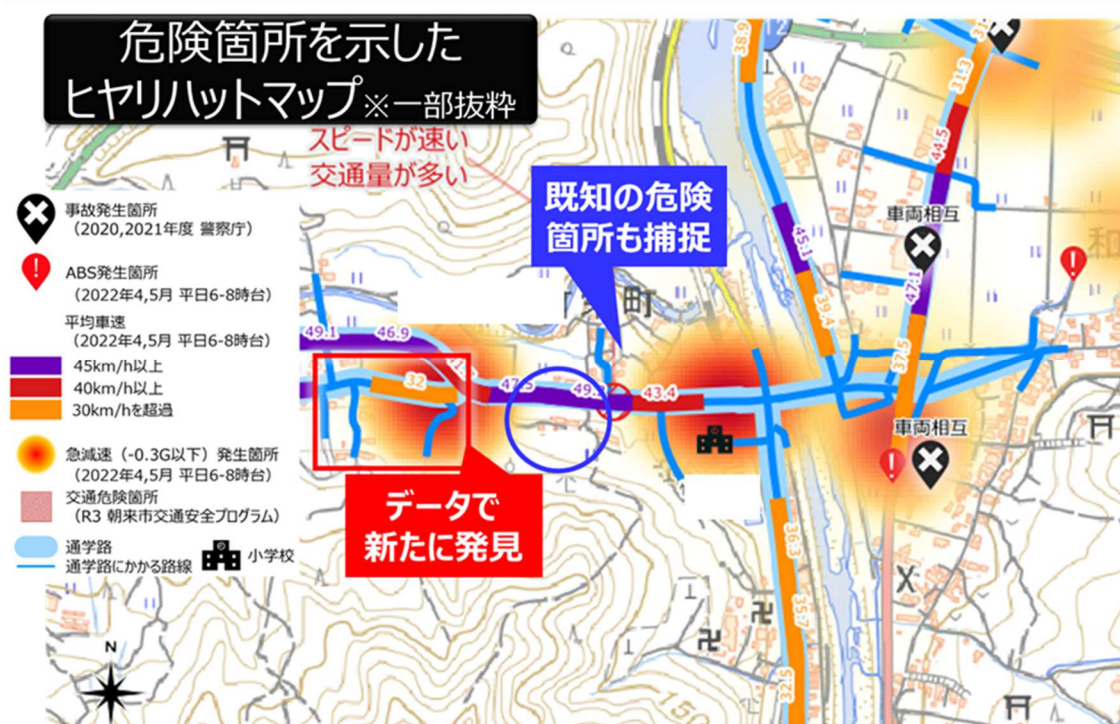


11 住み続けられる
まちづくりを



ビッグデータを活用し、客観的観点から危険箇所の把握と対策優先度の設定及び定量的な対策効果を検証するため、交通安全対策検討支援業務を実施することで、交通安全対策の精緻化を図ります。

事業費 13,500 千円（財源内訳：県補助金 5,000 千円、一般財源 8,500 千円）



ビッグデータを活用し、実際に走行している車両挙動からわかる危険を交通量データから集計・分析し、通学路におけるヒヤリハットマップの作成、事故リスク箇所の抽出、対策後におけるリスク減少効果の検証などを行います。

事業の実施予定

業務期間

令和7年4月から令和8年3月まで

業務内容

交通状況マップの作成、ヒヤリハットマップの作成
交通安全評価マップの作成、2時期比較マップの作成

問い合わせ先

建設部 道路建設課 交通安全プログラム推進室

電話：0533-66-1227 メール：tsupro@city.gamagori.lg.jp

西浦園地及び周辺エリアの

将来構想を策定します

8 働きがいも
経済成長も



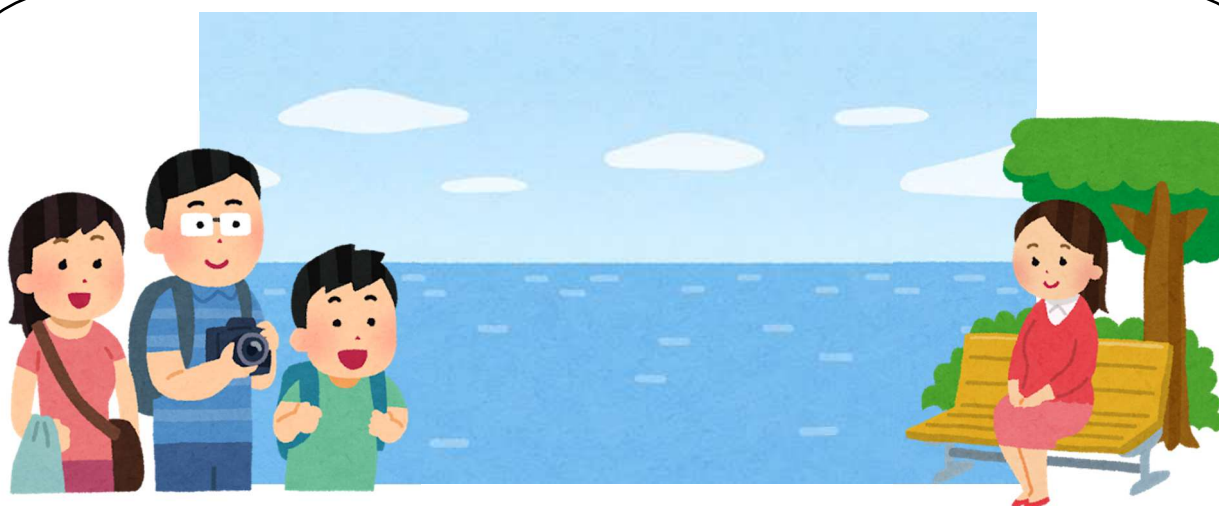
11 住み続けられる
まちづくりを



愛知県内有数の観光地として、市内に4つの温泉エリアがあり、海のまちとして景観の優れた本市の魅力を活かした観光誘客を推進するため、官民一体となり西浦園地を中心とした周辺エリアの整備基本構想を策定することで、観光地としての魅力向上を図ります。

事業費：5,100 千円

(財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 5,100 千円)



西浦温泉エリアにおいては、半島の先端ならではの海の眺めに加え、近年ではガマフォルニアと呼ばれる海岸線の風景やSNSで人気の喫茶店等のおかげで、多く観光客が訪れております。西浦園地においては、桜の時期に多くの観光客が訪れますが、その時期以外での利活用が課題となっております。そこで、官民一体となって、一年を通じた地域の活性化を目指し、観光地としてのグランドデザインを整備してまいります。

事業の実施予定

実施期間：令和7年4月から令和8年3月まで

実施内容：将来構想策定（パース図作成、ワークショップ開催など含む）

問い合わせ先

産業振興部 観光まちづくり課

電話：0533-66-1120 メール：kanko@city.gamagori.lg.jp

道の駅の導入可能性調査を実施します

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくる



11 住み続けられる
まちづくりを



地域の賑わい創出を図る施設として、道の駅の導入可能性を検討するため、市内全域から候補地を調査します。

事業費：11,000 千円

(財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 11,000 千円)

国土交通省が定義する『道の駅』とは、

○目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興に寄与

○基本コンセプト

【休憩機能】

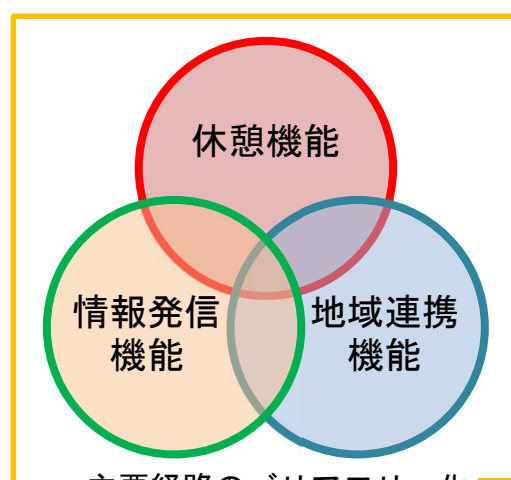
24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ・子育て
応援施設（ベビーコーナー等）

【情報発信機能】

道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等を提供

【地域連携機能】

文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設



主要経路のバリアフリー化
※災害時は防災機能を発現

地域とともに作る
個性豊かなにぎわいの場

調査期間：令和7年4月から令和8年3月まで

実施内容：計画条件の整理、整備目的の整理、コンセプト・基本戦略の検討、

候補地比較検討、イメージパース素案検討 等

問い合わせ先

産業振興部 産業政策課

電話：0533-66-1211 メール：sangyo@city.gamagori.lg.jp

農地情報公開型GISを導入し、 農業分野のDX化を推進します



令和6年度に定期見直しを行った農業振興地域整備計画による土地利用計画図及び地域農業の将来を示した地域計画による目標地図を公開型GISにより公開し、農地情報のDX化を推進します。

また、貸出意向のある農地をホームページで公開することにより、農地の有効利用や事務の効率化を図ります。

事業費：9,900 千円

(財源内訳：国庫補助金 4,950 千円 一般財源 4,950 千円)

蒲郡市情報マップ（農地情報）

土地利用計画図



■ 農業振興地域内の農地

目標地図



■ 10年後に耕作している農地

貸出意向のある農地



- 貸出意向のある農地(貸借可能)
- 将来的に貸出意向のある農地

- ★農地の保全
- ★農地の集積・集約化
- ★新たな耕作者の発掘
- ★遊休農地の発生抑制 など

「いつでも」「どこでも」
「だれでも」「簡単に」
確認できる！



問い合わせ先

産業振興部 農林水産課

電話：0533-66-1126 メール：norin@city.gamagori.lg.jp

産業・経済など

新規

里山林の整備を 支援します



土砂崩れや倒木等による被害を防止するため、住宅の周辺にある里山林について、森林環境譲与税を活用し、伐採等の森林整備に対する支援を行うことで、里山林整備の促進を図ります。

事業費：3,000 千円 （財源内訳：森林環境譲与税 3,000 千円）

里山林整備事業費補助金

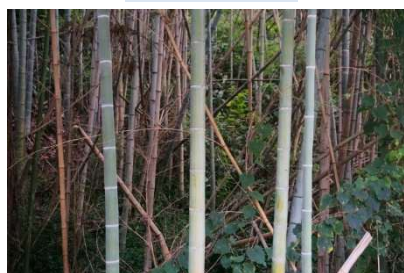
枯れ木・倒木



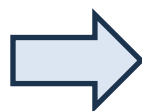
伐採



放置竹林



植林



里山林整備に要
する費用を補助

事業内容：土地所有者等が行う里山林整備に要する経費に補助金を交付します。

対象者：土地所有者、地域住民等（土地所有者の同意が必要）

補助対象：伐採、撤去、処分、植林等に要する経費（面積1a以上を対象）

補助額：対象経費の1/2（上限100万円）

申請受付：令和7年4月1日から5月30日まで

※予算の範囲内で、危険度の高い場所から優先的に交付決定を行います。5月30日までに予算上限に達しない場合は、随時受付を行います。

問い合わせ先

産業振興部 農林水産課

電話：0533-66-1126 メール：norin@city.gamagori.lg.jp

産業・経済など

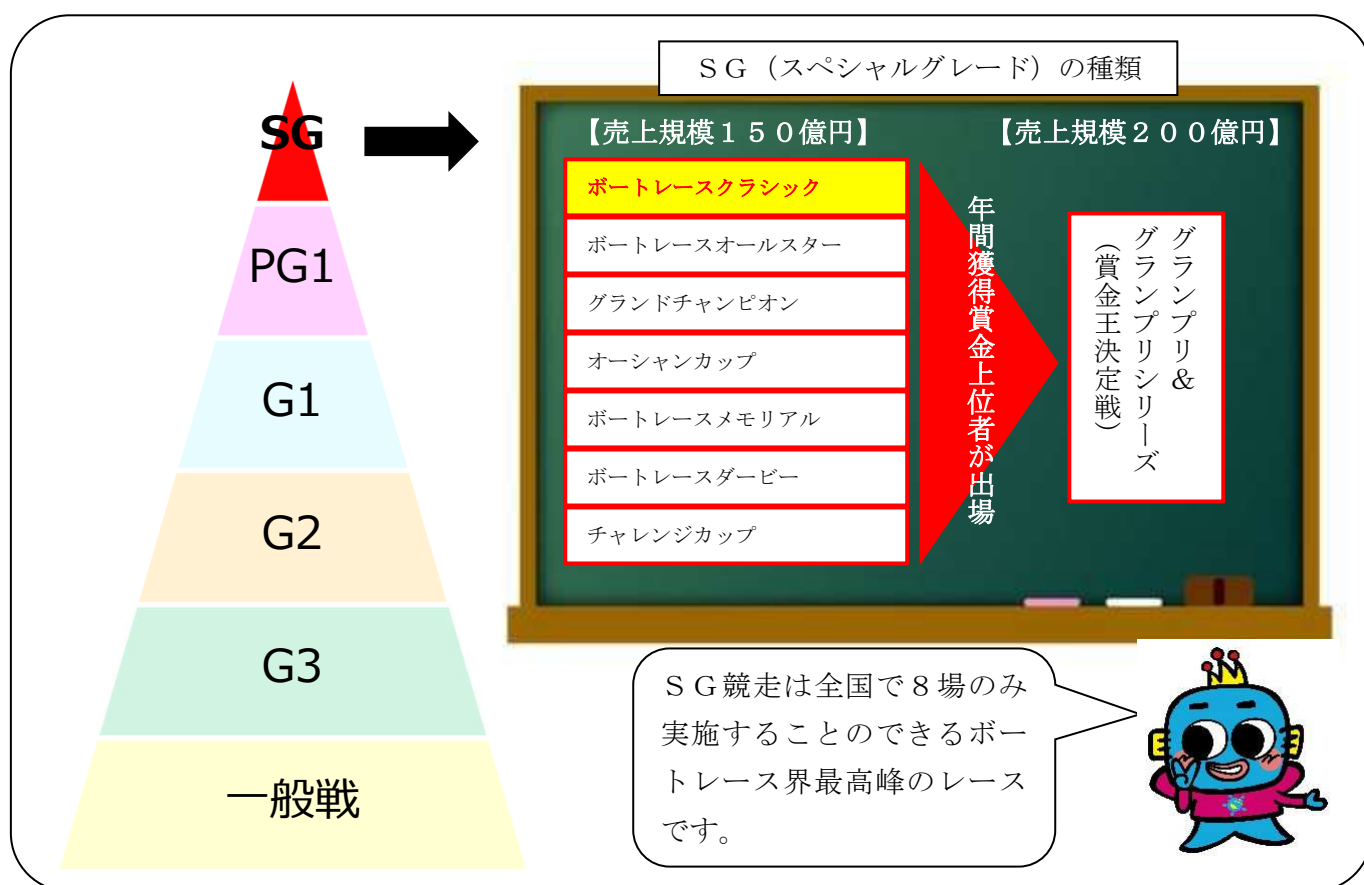
新規

SGボートレースクラシックを 開催します



34年ぶり5回目の開催（当年のSG競走の初戦にあたる大会）

発売収入：19,000,000 千円



開催日：令和8年3月24日（火）から3月29日（日）までの6日間

出場選手：前年優勝者、グランプリ優勝戦出場者6名、前年1月1日～12月31日のSG・G1・G2優勝者、G3以下の競走における優勝戦回数上位者、当年各地区選手権優勝者

優勝賞金：4,200万円

来場者数：30,000人超（予定）



問い合わせ先

ボートレース事業部 経営企画課

電話：0533-67-6606 メール：kyotei@city.gamagori.lg.jp

ゼロカーボンシティの

実現に向けた取り組みを推進します

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民や事業者の皆さまと一体となって取り組みます。

事業費：387,312 千円

財源内訳：県補助金 1,582 千円 ふるさと蒲郡応援基金繰入金 65,828 千円
諸収入 3,415 千円 一般財源 316,487 千円

● 事業者の皆さまの地球温暖化対策の取り組みを推進します

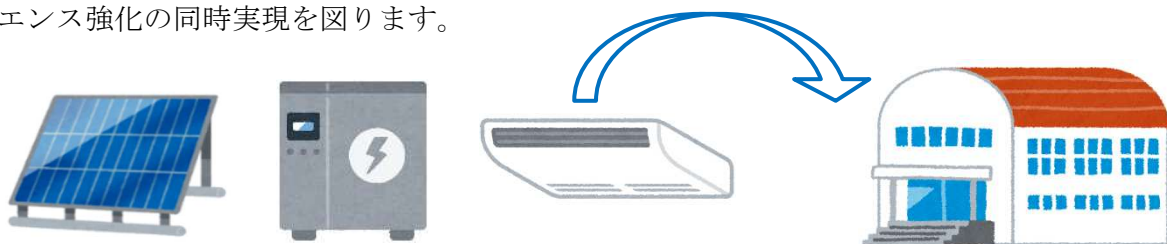
◇ 事業者向けセミナーの開催及び省エネ診断の実施

- 脱炭素経営を支援するため、エネルギー効率化の経営メリットや企業の社会貢献についての理解を深める脱炭素セミナーを開催します。また、このセミナーにあわせ、希望者に対して具体的な省エネ手法についての個別相談を行います。
- 省エネの取り組みの実施を検討している事業者様に対して、エネルギー管理士などの専門家が現場を訪問・診断し、省エネや脱炭素に関わる助言や提案を行います。

● 再生可能エネルギー・省エネ設備の導入を促進し、CO2 排出量を削減します

◇ 公共施設への太陽光発電設備・蓄電池・省エネ空調設備等の設置

令和6年度中に避難所施設である中学校6校及び蒲郡文化広場への設置を完了し、令和7年度中に同じく避難所施設である小学校10校への設置を推進することで、脱炭素化と地域のレジリエンス強化の同時実現を図ります。



● 次世代自動車の普及を促進します

◇ 公用車への次世代自動車の導入

- 公用車の電気自動車等への転換を計画的に進めます。
- 購入台数：電気自動車（EV）5台



問い合わせ先

市民生活部 環境清掃課 ゼロカーボンシティ推進室
電話：0533-57-3645 メール：zero@city.gamagori.lg.jp

サーキュラーシティを 推進します

継続

拡充



資源を効率的に循環させて持続可能な社会をつくとともに経済的な成長を目指すサーキュラーエコノミーを推進することで、「サーキュラーシティ」の実現を目指します。

事業費：26,356 千円

財源内訳：国庫補助金 10,800 千円

ふるさと蒲郡応援基金繰入金 9,000 千円

一般財源 6,556 千円

実証実験プロジェクトの実施

- ◇ 社会課題解決のため、事業実装を目指し、各分野における実証実験を行います。



市民向けの啓発や事業者向けの カンファレンスの開催

- ◇ 市民に向けてサーキュラーエコノミーの認知を広げるための啓発を促します。また、事業者に向けて新たな商品やサービスを創出するため、異業種マッチングを促進します。



評価レポート等の作成

拡充

- ◇ 持続可能な社会の実現に向けた活動をまとめ、進捗状況の評価したサステナビリティレポートと自発的自治体レビューを作成します。

事業を推進する体制の構築

拡充

- ◇ サーキュラーエコノミーを実装していくために、産学官が連携した持続的な運営体制の構築を目指します。



サーキュラー
シティ
蒲郡
CIRCULAR
CITY
GAMAGORI

問い合わせ先

企画部 企画政策課 サーキュラーシティ推進室

電話：0533-66-1226 メール：circular@city.gamagori.lg.jp

※写真は過年度に実施したものであり、イメージ写真です。